

平成30年度の学校自己評価アンケートの集計結果について(報告)

本校の教育活動について皆様のご意見を聞き、今後の教育活動に生かすことを目的に今年度も学校自己評価アンケートを実施しました。保護者の皆様、施設職員の皆様にご協力いただき大変ありがとうございました。回答状況は以下のとおりです。

アンケート期間(10月15日<高等部のみ5日>~11月14日)			
保護者	104名	施設職員	15名

今年度の各項目の集計結果は、グラフと合わせて学校ホームページにも公開しています。なお考察にあたっては、各項目とも皆様に4段階で評価していただき、「A:よくできている」と「B:概ねできている」を合わせてプラスの評価、「C:あまりできていない」と「D:全くできていない」を合わせてマイナスの評価として集計しました。



保護者・施設職員の集計結果において、特徴的な点は以下のとおりでした。

(1) 評価の割合が向上した項目(昨年度と比較してA+B評価が増えた項目)		
保護者のみ	⑨ 指導の工夫	(A+B評価 89%→94%)
	⑬ 健康や安全に関わる指導の充実	(A+B評価 89%→96%)
	⑰ 教職員研修の充実と指導への活用	(A+B評価 90%→96%)
保護者・施設職員	⑫ 人権教育の充実と尊重した関わり	(A+B評価 88%→92%)
	⑮ 進路に関する指導と情報提供	(A+B評価 83%→91%)

(2) 課題と思われる項目(C+D評価が他の項目より高い項目)		
保護者	⑦ 児童生徒個々の実態把握と適切な目標の設定	(C+D評価:11%)
	⑭ 指導状況の引継ぎ	(C+D評価:12%)
施設職員	⑦ 児童生徒個々の実態把握と適切な目標の設定	(C+D評価:54%)
	⑭ 指導状況の引継ぎ	(C+D評価:27%)
	⑰ 教職員研修の充実と指導場面での活用	(C+D評価:29%)

保護者・施設職員の方々には、教職員の指導力・専門性の向上を求めており、学部移行時の指導の引継ぎの充実、よりよい授業実践への要望と捉えました。

また、自由記述につきましては、日頃感じられていることを率直に書いていただき、ありがとうございました。その中で、参観日や保護者が学校に来て研修ができる日を増やしてほしいという要望が多数寄せられました。来年度は参観週間を設定するなど、皆様の要望にお応えしていきます。

上記の集計結果と教職員の評価を併せ、来年度に向けて、以下のことを重点に改善及び充実を図っていきます。

<来年度の重点取り組み>

今年度の良かった点の継承と課題点の改善として、5点挙げます。

- ① トモニー療育センター教材を活用した授業づくり(校内研究)の推進
- ② 西っ子元気プロジェクト(あいさつ・掃除)の継続・推進
- ③ 校外学習の価値づけ(校内行事の見直し)と学部間の系統性
- ④ 子どもへの関わりの充実(適切・的確な捉えと個人目標の設定)
- ⑤ 安全・安心に配慮した学校生活の確保

